

地方自治体のみなさまへ

官民連携推進のための 地域課題 登録マニュアル

地方創生 SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

プラットフォーム活用の基本は課題登録

プラットフォームでは、自治体が解決したい課題に対して民間事業者から提案が寄せられます。

自治体の課題を民間事業者との連携によって解決していきたいとき、ぜひプラットフォームに登録してみてください。

なお、官民連携は、入札の準備とは異なり、初めから自治体がすべての仕様を細かく決める必要はありません。

重要なのは、自治体と企業・団体が「やりたいこと」や「できること」を持ち寄り、地域をより良くするために協力して取り組むことです。

「課題」ってなに？

本資料では、自治体が抱えている悩みや、達成したいことを「課題」と表現しています。
例えば、以下のようなことが「課題」に挙げられます。

- 政策や自治体の各種計画、組織目標等で示していること
- 市民等から求められていること
- 事業(事務)を進める上で職員が困っていること等

★コラム：民間事業者とコンタクトを取るメリットとは？

民間事業者はさまざまな専門知識や知見、アイデアを持っており、コンタクトを取ることで、自治体として解決したいことの輪郭がはっきりしてくることも多くあります。

自治体として何ができるのかアイデアが乏しい、予算がないなど、取組を推進する手が止まってしまったタイミングこそ、官民連携のチャンスです。

業務委託と官民連携(公民連携・官民共創)は同義ではありません。両者が協力して解決する方法を探っていくプロセスが重要です。

自治体における意見交換までの流れ・ポイント

課題集めや課題の検討・言語化にお困りの場合は、
当プラットフォームの 伴走支援窓口 にて
官民連携の専門家が相談を受け付けています。
どんなことでもお気軽にご相談ください。

① 課題(困りごと)の収集

課題を収集し、整理することが最初のステップ
総合計画等における目標達成までの具体的な道筋が見えにくい事項だけでなく、現場レベルの困りごとを整理

課題整理の仕組みづくり

課題を収集するため、地域課題の外部提示によるメリットを共有、庁内全体や地域の団体と連携して課題整理を行う仕組みづくりが重要になる。

② 課題解決に必要な技術・ノウハウ等の検討・言語化

課題解決に向けて、民間団体に求めるモノ(技術・ノウハウ等)を検討し、どのように伝えるかを考える。

課題の粒度

課題を明確化することで、具体的な提案につながる可能性が高い。一方で、広くアイデアを募集する形は、思いもよらない新たな提案につながる可能性が高い。

③ 課題の登録

①, ②で検討した結果をプラットフォームウェブサイトに登録する。

(予算の確保状況に関わらず登録いただけます。)

※民間事業者に提示する課題は1つに絞る必要はなく、複数を提示可能

③ 民間事業者のソリューションの確認

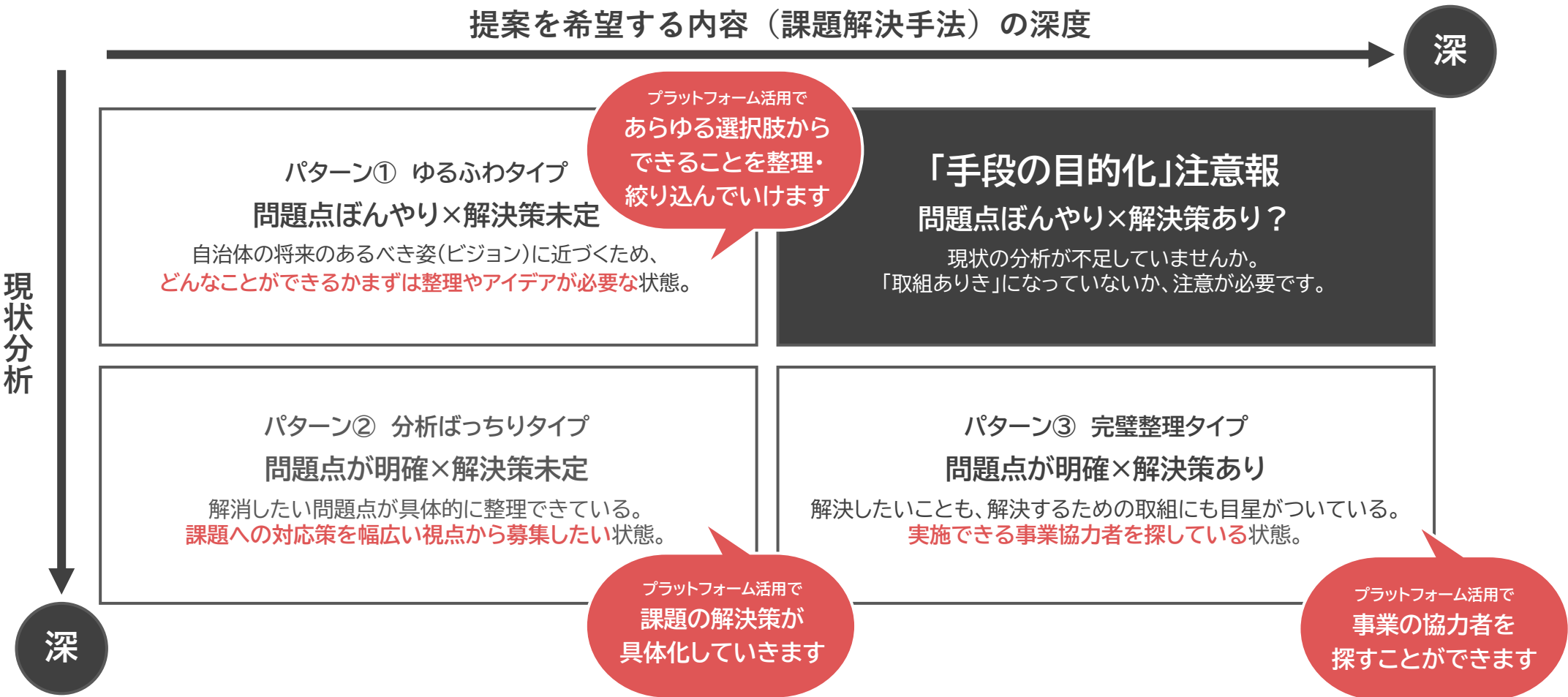
課題に対する民間事業者の提案を待つのと同時に、民間事業者がソリューションとして登録している内容を確認し、課題解決に結びつきそうな事例があれば、②で言語化した結果をもとに、**提案依頼を行う。**

④ 意見交換(マッチング)成立

興味・関心のある提案があった場合、意見交換を行うなど連携・実現に向けた可能性を検討する。

民間事業者提案してほしいことの方向性をつかもう

自治体から民間事業者を求める提案を、以下のように類型化しました。
事業が今どのような状態なのか、どのような提案が欲しいかがわかると、官民連携の方向性も見えてきます。
①～③のどの種類の課題であっても、プラットフォームをご活用いただけます。



【参考】類型ごとの自治体の課題例(民間事業者に求める提案のパターン別)

パターン①

問題点ぼんやり×解決策未定

自治体のあるべき姿に向けて
アイデアが欲しい。

- 地域のデジタル化・スマートシティを推進したい

地域コミュニティの低下等の地域課題を、AIやビッグデータなどの先端技術の活用により解決を図っていくため、先端サービスの導入事例や技術の提案が欲しい。

- 循環型の持続可能な地域運営手法を確立したい

住民が住み続けられる、住み続けたいと思う地域づくりを進めていくために、環境にも配慮した、金・人・情報が循環する仕組みを検討・構築したい。

パターン②

問題点が明確×解決策未定

課題やニーズへの解決策やアイデアを
広く募集したい。

- 持続可能で魅力的な公共交通の導入

コミュニティバスの利用者が年々減少している中で、バスの運行維持費も増大し予算も厳しい状況にある。地域の公共交通事業の課題解決につながるスキームや新たなモビリティの実証実験等の提案が欲しい。

- 地域住民とともに、小中学生の子どもが本に接し、興味を持つ機会の創出

図書館の蔵書やイベントのノウハウを活用しながら学校や保護者以外とも連携することにより、読書習慣がなく図書館にも訪れない子どもに対し本を楽しむきっかけを作る取組について幅広く募集したい。

パターン③

問題点が明確×解決策あり

自治体が実施したいことを
具体化する方法を提案してほしい。

- 陸域及び河川ごみの調査、回収におけるドローン等デジタル機器の活用

河川から海に漂着するごみの実態把握と、内陸から海に漂着するごみ問題について住民が当事者意識を持ち行動変容を促す機会を創出するため、ドローン等を活用したごみ把握や回収ノウハウの提案が欲しい。

- 都市部での移住定住者向けの就職マッチング

地域から人口流出の多い都市部において、移住定住を希望する人の掘り起こしを図りたい。効率的な人材の掘り起こしや就職マッチング支援の方法について提案が欲しい。

ふと「なにかいいアイデアがあったらな。」

そんなときが官民連携の一番の活かし時です！

官民連携で解決したい「課題」の骨格を決める

次ページからは、自治体が抱えている「課題」をプラットフォーム用の文章にしていくまでの考え方を、具体的な事例をもとにご紹介します。

自治体の悩み・達成したいこと	地域住民の健康を守るため、市民のがん検診受診率を向上させたい		
達成のために解決したい問題点	未定	<u>受診予約が面倒だと思われていること</u> に限定	<u>受診予約が面倒だと思われていること</u> に限定
※プラットフォームでは、問題点を1つに絞って提案を募ることも、あえて決めずに掲載することもできます			
解決のしかた	未定	未定	<u>分かりやすい説明により予約の心理的ハードルを下げる</u> に限定
	▼	▼	▼
	パターン① (問題点ぼんやり×解決策未定)	パターン② (問題点が明確×解決策未定)	パターン③ (問題点が明確×解決策あり)

類型ごとの課題の書き方イメージ ①

パターン①（問題点ぼんやり×解決策未定）の場合

自治体が目指す姿に向けてどんなことができるか、アイデアを集めることが目的となります。
やりたいことを限定せず、自治体の状況を説明する文章にします。

◆ 解決したい課題の内容（現状分析）

〇〇市市民のがん検診はここ数年でいずれも横ばいか、低下しています。対象者に対する通知を郵送していますが、大きな受診率向上にはつながっていません。
がんの早期発見は地域住民の健康を守り、地域社会全体の健康を向上させるためにも必要な取組であり、検診の受診率を高める取組を進めたいと考えています。

◆ 提案者側に期待すること（方向性・やりたいこと）

がん検診の受診を促す効果的な周知方法のほか、受診率を向上させるためのアイデア提案や事例の紹介を求めています。

提案が期待されること

- ・がんを早期発見することの重要性を普及するセミナーの開催
- ・スムーズに受診予約に進める仕組みの開発
- ・SNS等を用いて通知が見逃されないようにする他自治体での事例紹介 等

コラム：解決してほしい問題点があいまいでもいいの？

民間事業者と話をすることで、これまで自治体側が見えていなかった視点などが自然と明確になっていきます。
目指すべきビジョンはあるが、どのようにしてゴールに向かっていけばよいか分からないなど、解決したい問題点があいまいな場合にもプラットフォームをご活用ください。

類型ごとの課題の書き方イメージ ②

パターン②（問題点が明確×解決策未定）の場合

目指す姿を実現するために解決すべき問題点が分かっているので、問題点を乗り越える方法を探ることが目的です。
抱えている課題感を明示し、よりの確な提案がもらえるようにします。

◆ 解決したい課題の内容（現状分析）

〇〇市市民のがん検診はここ数年でいずれも横ばいか、低下しています。対象者に対する通知を郵送していますが、市民アンケートによると、市ががん検診の勧奨を行っていることは知っていても、実際に予約する行動に移すまでのハードルが高いことが分かりました。がんの早期発見は地域住民の健康を守り、地域社会全体の健康を向上させるためにも必要な取組であり、検診の受診率を高める取組を進めたいと考えています。

◆ 提案者側に期待すること（方向性・やりたいこと）

市民の受診予約に対するハードルを低くし、受診率の向上につながる提案を募集します。

提案が期待されること



- ・ スムーズに受診予約に進める仕組みの開発
- ・ SNS等を用いて通知が見逃されないようにする他自治体での事例紹介
- ・ 紙とWEBの両方で予約を受け付けるスキームの提案 等

類型ごとの課題の書き方イメージ ③

パターン③（問題点が明確×解決策あり）の場合

「目指す姿」の実現に向けて解決すべき問題点や、それを解決するためのアイデアは自治体側で決めている状態です。
自治体のアイデアを実現する方法を提案してもらうことが目的であり、決定事項を具体的に記載します。

◆ 解決したい課題の内容(現状分析)

〇〇市市民のがん検診はここ数年でいずれも横ばいか、低下しています。対象者に対する通知を郵送していますが、市民アンケートによると、市のがん検診の勧奨を行っていることは知っていても、実際に予約する行動に移すまでのハードルが高いことが分かりました。がんの早期発見は地域住民の健康を守り、地域社会全体の健康を向上させるためにも必要な取組であり、検診の受診率を高める取組を進めたいと考えています。

◆ 提案者側に期待すること(方向性・やりたいこと)

昨年度から申込の仕組み自体の簡素化に取り組んでいるため、これと連動して、市民の受診予約に対する心理的ハードルを下げるため、分かりやすい説明資料づくりのノウハウを持った事業者の協力を求めています。
「予約が面倒だ」と思われないようにするための情報の伝え方など、広くご提案ください。

提案が期待されること



- ・ 他自治体において広報物のデザイン実績が豊富な事業者との出会い
- ・ 対象となる世代にあわせた周知方法の工夫 等

最後に ― 官民連携で解決したいことを書き出してみよう

あなたの自治体で官民連携で解決したいことを書いてみてください。

自治体の悩み・達成したいこと			
達成のために解決したい問題点		OR	未定
解決のしかた		OR	未定

コラム: 困りごとがすぐに思い浮かばないときは

自治体の困りごとを言語化することが難しければ、自治体のリソースでは十分な対応ができる見込みがないと諦めていることや、既に取り組んでいるが良い結果が出ていないことなど、担当者として行き詰まりを感じていることから探してみてください。

課題から個別の問題点(ニーズ)への落とし込み・具体化フロー ①



課題から個別の問題点(ニーズ)への落とし込み・具体化フロー ②

テーマ	課題の収集	ニーズへの落とし込み	ニーズの具体化
人口流出・若年層の雇用対策	卒業後の地域企業への就職減少	魅力ある地域企業のPR	▶ 地元教育機関と連携した就職セミナーや説明会等のイベントの企画・立案
		▶ 学生への地方回帰意識啓発	▶ ネットやSNSを活用した、地域企業をPRする効果的なプロモーション
	若年層の起業・創業の低迷	▶ 若年層への創業支援	▶ 地域の魅力再発見を促すための学生向けの体験学習機会の提供
		▶ 地域金融機関等との連携	▶ 学生と地域企業をつなげる就職活動プラットフォームの構築
	地域企業の減少・衰退	▶ 地域企業の人材不足解消	▶ 創業支援に向けたアクセラレーション・プログラムの開発・支援
		▶ 創業希望者等への移住支援	▶ 先輩起業家とのワークショップ・セミナー等イベントの企画・立案
			▶ 創業に向けた地域金融機関等と連携を行う基盤、コンソーシアムの構築
			▶ 販路拡大のための企業間マッチングイベントの企画・立案
			▶ 地域企業が求める人材を都市部から受け入れるスキームの構築
			▶ IT化の推進、ITツールの導入支援
			▶ 新産業の創出に向けた、地方と都市部をつなぐオープンイノベーションの取組
			▶ 都市部における移住・定住者向けの就職マッチングイベントの企画・立案

課題から個別の問題点(ニーズ)への落とし込み・具体化フロー ③

領域	課題（概要）	課題（詳細）	想定されるニーズ例
デジタル	日常業務の効率化	窓口対応業務の生産性向上、 煩雑な通常業務の効率化	住民提出書類及び押印の電子化、 RPA・ワンストップの導入
	ネットを活用した地域活性化	インバウンドの誘致や特産品の 販促活動の拡大	デジタルマーケティングによる 地域プロモーションの強化
防災	災害への予測対策	河川氾濫の兆候検知	自己発電型水位感知センサー の導入
	情報発信	実効性の高い住民向け緊急 情報発信手段の導入	緊急時に住民へ迅速かつ明確に 伝える災害情報発信手段の導入
子育て	家庭・仕事の両立支援	一時預かりサービス不足の解消	子育てシェアサービスの導入
	子育てに悩む親の支援	相談窓口・人材の不足解消	SNSを活用した相談窓口の設置、 子育て支援団体との連携

ぜひプラットフォームをご覧ください！

以下のURLまたは二次元コードからアクセスいただけます

<https://future-city.go.jp/platform/>



地方創生SDGs
官民連携
プラットフォーム



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。